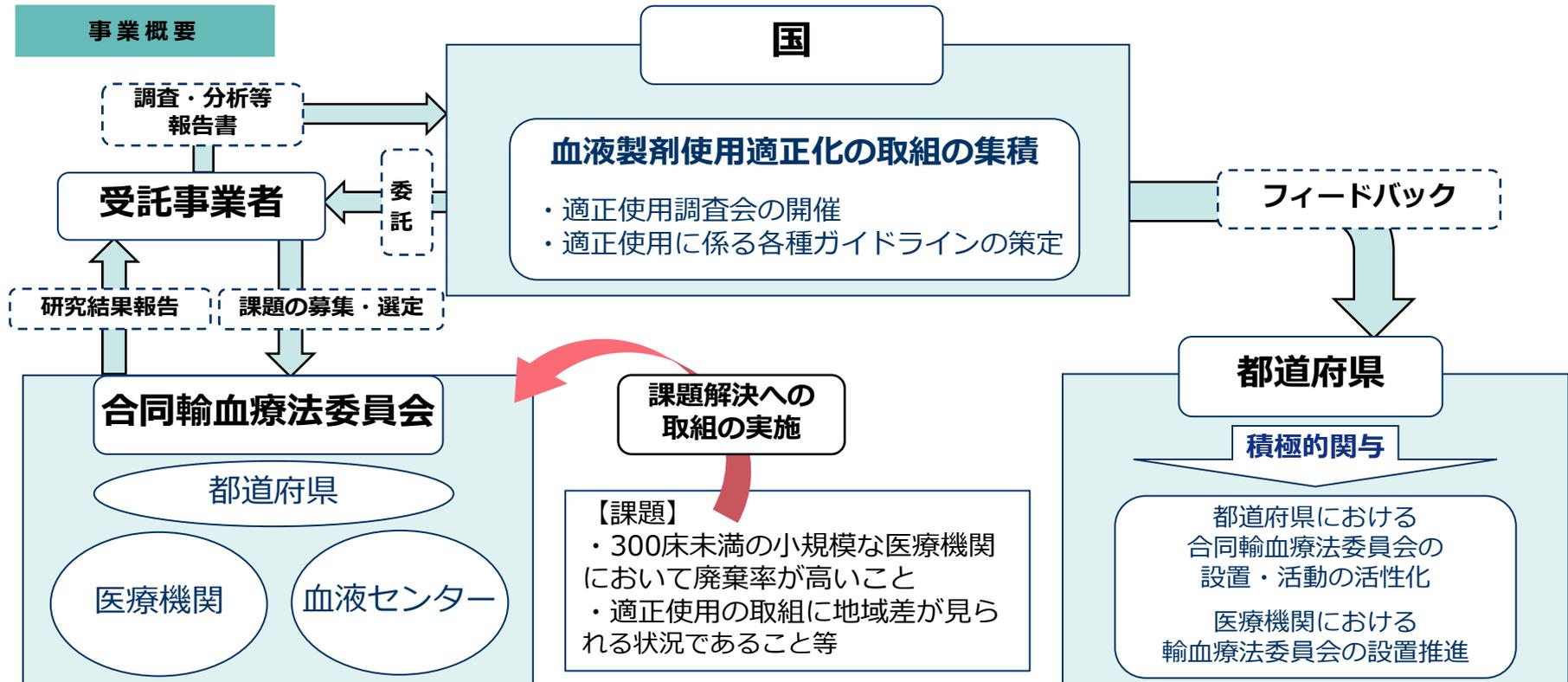


血液製剤使用適正化方策調査研究事業の概要

目的

- 本事業は、血液製剤の適正使用を推進する観点から、各都道府県における課題とそれに対する取組について調査研究することを目的としている。
- 厚生労働省は、血液製剤の適正使用を推進するために、各都道府県に医療機関や採血事業者等の関係者が参加して、血液製剤の適正使用を推進する上での課題の認識や手法の検討、実施等の取組を行う合同輸血療法委員会を設置を推進しているが、先進的な取組を行う合同輸血療法委員会が主体となって当事業を実施し、全国でその取組を共有することで、効果的な血液製剤の適正使用の方策を推進するものである。

事業概要



都道府県名	研究課題名
秋田県	(照射)赤血球液-LR「日赤」の有効期間延長に伴う廃棄率減少に係る詳細調査および輸血関連循環過負荷(TACO)に関する小規模医療機関も含む多施設啓発とTACO pre-transfusion checklistの導入検討
茨城県	茨城県内僻地医療機関における血液供給と使用実態に関する解決策の探索研究
埼玉県	血液製剤使用適正に向けた医療施設内輸血療法委員会活動の実態調査
新潟県	コロナ禍後の地域ミーティング再開による中小規模医療機関における血液製剤廃棄状況の実態把握と改善に向けた取り組み
兵庫県	ミリ波センサーを用いた在宅輸血危険行動検知システムの開発
広島県	「災害時等における医療機関間の輸血用血液製剤の譲受・譲渡(融通)」の実効性の向上について
愛媛県	医療機関と赤十字血液センターの地域間連携による血液製剤院内在庫の適正化と輸血体制の整備
長崎県	離島圏医療機関への無人航空機を用いた血液製剤搬送体制の実用化に関する研究